



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O TOSHIMIDE AKIZUKI
 8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA
 HYOGO JAPAN

December, 1999 No.6
 Chartered July 20, 1982

標語 Y'S SLOGANS (1999~2000)

クラブ会長 『楽しい奉仕活動、笑ってゆるして』
 国際会長 "Enthusiasm makes the difference"
 『やる気が鍵だ』
 アジア会長 "より良い世界を次世代にー美しい地球を守ろう"
 『Build a better world for the next millennium』
 西日本区理事 "21世紀に向かって新しい創造を"
 中西部長 "ワイズの原点を見つめ、より良きワイズライフを"

クラブ役員 Executives

会長：川村 一夫
 副会長：栗山 佳三
 "：芳崎 栄治
 書記：山田 孝彦
 会計：三浦 直之
 ネット娘：隅田 恵子

月間強調テーマ：『WELLNESS』

＝ 12月の聖句＝ [Biblical Passage of the Month]

そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。

彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上にとまった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。

家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて黄金、乳香、没薬(もくやく)を贈り物として献げた。

ところが「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

(マタイによる福音書 2章7~12節)

＝ Attention Please ＝

- 12月例会は右欄の通りです。納会終了後、記念写真撮影を行います。
- 1月15日(土)中西部合同新年会は当クラブがホストクラブです。全員参加で会を盛り上げましょう!

＝ 12月のお誕生日＝

下記の皆さんです。Happy Birthday!
 黒田 2日、堀 2日、中村(隆) 26日

【クラブ統計】

99年11月	分類	第1	第2	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 24名	メン	16名	5名	11月：切手 1,200gr.	11月：18,300円
例会出席 16名	メネット	5名	1名	現金 11,000円	
他クラブ出席 0名	コメット	0名	0名	累計：切手 2,659gr.	累計：105,607円
出席率 66.7%	ピジター	0名	0名	現金 29,918円	
(Attendance Ratio)	ゲスト	0名	0名		(除、X'MAS献金、オークション、記念献金)
(メイクアップを託)	合計	21名	6名	(明細は"BF報告"参照)	

＝ 12月クラブ例会＝ [December Regular Meeting]

◇第1例会

日時：1999年12月11日(土) 6.00~6.30p.m.
 場所：YMCA土佐堀館9階902号室

- 司会：藤原 正巳君
 川村一夫会長
 1. 開会点鐘 ー 同
 2. ワイズソング ー 同
 3. 聖句朗読 田中 穰二君
 4. お誕生日祝い ー 同
 5. ニコニコ献金 ドライバー
 6. 役員会・委員会報告 役員・委員長
 7. YMCAニュース 神田連絡職員

◇合同YMCAクリスマス会

日時：1999年12月11日(土) 6.30~8.30p.m.
 場所：YMCA土佐堀館9階・10階チャペル
 内容：別添YMCAプログラムにフォロー
 会費：500円。プレゼント交換なし

◇第2例会(役員会・納会)

日時：1999年12月22日(水)
 場所：サンガーデン堂島4階
 役員会：5.30~7.00p.m.
 納会：7.00~8.30p.m.
 発表「今年の活動を振り返って」
 会費：4,000円

＝ 12月の例会当番＝

第3班の皆様です。よろしくお願ひします。
 (黒田、谷川、田中、池永(兼)、藤原)

— 今月の聖句に寄せて —

ユダヤの王ヘロデは「将来ユダヤの王と成る幼子がユダヤの何処かに生まれた」という噂を聞き、これを抹殺しようと考えました。

イエス・キリストは決して政治的な意味での王ではなかったのですが、ヘロデは政敵と考え恐れしました。そのために学者たちを派遣し調べさせたのです。

ヘロデは学者たちの報告が無かったので、その後ユダヤ全土に「2才以下の幼子の皆殺し」を命じました。勿論イエス親子は夢による天使の指示でエジプトに逃れ無事でしたが、

このイエス誕生の物語に出てくる、学者たちを導いたベツレヘムの星こそ、世を導く星であり、皆さんの胸につけておられるバッジ(正しくはピン)に描かれている星であります。

クリスマスを迎えるに当りワイズの存在の意義とクラブの持つ使命を考えたいものです。

(聖句選・コメント：黒田蔵之)



《センテニアル青果店—関西いのちの電話バザーにて》



《年々手際が良くなりました—切手整理例会にて》

— 11月第1例会報告 —

[Report of the November Regular Meeting]

(11月17日(水)6.30p.m.)

藤原 正巳

11月はBFの月。例会はメン16名、メネット5名出席という相変わらずの高出席率を記録する中で、例月通り賑やかに開催されました。冒頭、昨年11月24日に亡くなられた秋月前会長の1周年忌に対し全員で黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

当月のメインイベントは、奇しくも秋月前会長の尽力で恒例となった「切手整理」。

坂本メンによる分かりやすいY2K問題の解説、畠中メンによる興味深い日中友好青年の船(洋上大学)のお話を聞きながら、楽しい切手整理のひとときを持ちました。

使用済切手の活用によるファンド作りはワイズの伝統的な手法ですが、会長時代に出席した中西部会評議会での他クラブの反応は「手間の割に成果が少ない」としてこの手法に否定的なところが多く、当クラブは数少ない伝統維持派との印象を受けました。

しかし、例会での切手整理はワイズ・スピリットの涵養に役立つばかりではなく、切手整理中の「おしゃべりタイム」を通じて、会員相互間のコミュニケーションの増進にも大いに役立つことがこれまでの経験から実証されています。

切手整理をしながら、この伝統的な手法を大事に踏襲してゆくことの重要性を痛感しました。

会員の皆様大変ご苦勞様でした。

— 11月第2例会報告 —

[Report of the November Executives' Meeting]

(11月24日(水)6.30p.m.)

書記 山田 孝彦

当日の協議・決定事項は次の通りです。

1. 12月例会プログラム：表記プログラムの通り

2. 1月例会プログラム：

メインテーマは総会開催、次期役員の選出。

詳細については12月の役員会にて検討の予定。

(次期役員検討のため、12/1(土)17時より臨時役員会を開催の予定)

3. クラブ運営・委員会関係

① 合同クリスマス会 (12/11)

当クラブは「食事」を担当。おにぎり、いなり寿司、バナナなどを手配することとした。

スタンツについてはキャロル2曲を歌うこととし、選曲は福永君に依頼した。

② 12月納会 (12/22)

役員会決定内容に基づきホテルと打合せの予定

③ 中西部新年会 (12年1月15日(土)YMCA上層9・10F)

採算ライン、その他内容全般につき再点検実施。100名以上の参加が必要のため、当クラブ会員へのPRを更に徹底することとした。

④ その他

下記事項につきその取り扱いを検討した。

・退会希望者、会費の長期未納者の取扱い

・プリテン発送方法の変更



《お母さん早く！一バトンはコメットへ》

◎チャリティーランに参加して

(坂本 拓也)

チャリティーラン当日朝早く起こされたので、気分が悪く車の中でずっと寝ていた。着いてすぐ父さんお母さんはどこかへ行った。しばらくして父さんと旗持ちをした。ぼーっと立っただけだった。そしてマラソンするところへ行った。走る前から心臓がドクドクしていた。山田さんが走っている間はすごくドクドクが強くなっていた。

山田さんから父さんにかわってまたドクドクが強くなった。でも父さんが余りにも遅かったので緊張が少しほぐれた。

父さんから母さんへかわった。母さんはけっこう早かった。タスキを母さんから受け取る時ドクドクは最高潮に達した。400m位走って疲れてきた。途中山田さんが一緒に走ってくれたので、少し楽になった。タスキを三浦さんにわたす時はもうヘトヘトだった。順位いまいちだったけど有意義な時間だったと思う。本当に走ってよかった。

◎世界YM/YW/韓国Y合同祈禱会(11/15)に参加して

(山村 利子)

- 1部：テーマ「グローバリゼーション」
—いま人間として生きるために—
山本真司牧師(同志社国際高校)の説教と災害、紛争など様々な困難に直面している人々のために、私たちはどうあるべきかを考え共に祈りましょう。
- 2部：交わりを深めましょう
YWCAの介護問題の寸劇、韓国YMCAの韓国語の賛美歌、YMCAのコラス、そして参加者が持ち寄った御馳走をいただきながらのひとときを楽しみました。

◎メン・メネット「いのちの電話バザー」で大活躍

(山田 孝彦)

恒例「関西いのちの電話バザー」が11月6日(土)に開催され、センテニアルメン、メネット11名がこれに応援参加した。わがクラブは今年も果物屋さんを担当。中央市場から直接仕入れたりんご、柿、みかんを並べて特価で陳列し、「安いよ、美味しいよ」と大声で呼びかけた。(右上に続く)

メネットグループは例年好評でアツという間に売り切れる、格安婦人衣料品が今年も入手できなかった。果物屋に合流。ひときわ華やかな呼び声で人気を呼んでケース単位での買上げも多くお買上げ品の箱を積み上げる景気のよさ。宅配便代を払って未だ安いとあって、電話で売込もやるなどの積極販売を展開し完売。売上げ127,000円、収益30,000円の好成績をあげた。

会場に隣接して児童の保護施設があり、毎年バザーの買物券を持って買物を楽しむ子どもたちの姿があります。たまたま1個のりんごを買った少女のために中村メネットが皮を剥いてあげました。それを見ていた別の子どもがまたりんごを買いました。そして私も剥いてほしいと言いました。中村さんは器用にグルグルと皮をつなげたまま剥きました。気が付くと、5~6人の子どもたちがその後並んで自分の順番を待っていました。子どもたちは剥いて貰った皮も大事にそうに持ってりんごをかじりながら去っていきました。ささやかな交流と感動のひとつときでした。

—YMCA NEWS—

連絡職員：神田 尚人

* NPO講演会

日 時：12月3日(金)18.30~20.30
場 所：大阪YMCA会館 101号室
テーマ：米国におけるNPOセクターの役割と資金調達
講 師：S.マックニール氏
A F S サンフランシスコ事務所副所長
内 容：米国の市民社会の現状とNPOの役割、資金調達について学び、21世紀における日本のNPOの活動を考える。

* 土佐堀館クリスマス(Y・学Y・4ワイズ合同例会)

日 時：12月11日(土)午後6時~8時
場 所：大阪YMCA会館
内 容：礼拝と祝会(学Yが創意工夫したスライドを織交ぜた「祈り」をテーマにした礼拝と、学Y・留学生など若者が加わった賑やかな祝会を予定しています。

* 早天祈禱会

日 時：12月20日(金)午前7時半~8時半
場 所：大阪YMCA会館 10Fチャペル
お 話：小崎 清信氏(島之内教会牧師)
テーマ：畏れを持って

—11月BFニュース—

[Report of the Brotherhood Fund in November]

BF委員長：坂本 哲朗

◇切手提供者：

川村、坂本、隅田、福永、三浦、山田、栗山、池永(計)、中村(計)、黒田、田中、谷川、藤原、鈴木、畠中、堀井、山村、柴田、中村(計)
* 当月の殊勲賞 山田君(210gr.)

◇現金提供者：

川村、山田、栗山、池永(計)、中村(計)、黒田、田中、谷川、藤原、畠中、堀井、山村、中村(計)

